


**越戸軍一さん**  
菜摘さん・優さん

(中央区・71歳、11歳、47歳)


健康で、大漁で、村も繁盛する年でありたいです。最後の小学校生活だからテニスを頑張りたいです。家族を大切にし、より愛される父親でありたいです。



**大上 真美さん**

(太田名部・11歳)


今年6年生になるので、何でも自分から挑戦したいです。習字とクラシックバレエももっとうまくなれるように頑張りたいと思います。



**前川千加子さん**

(白井・11歳)


今年4月から6年生になるので、下級生に優しくしたいです。あと、勉強も一生懸命頑張りたいです。



**畑 俊輔くん・正彦さん**

(堀内・11歳、47歳)

今度6年生になるので、今年はスポ少(野球)と勉強を頑張りたいです。家族みんなが健康でいれば、それが一番ですね。



**日野澤郁子さん・輝くん**

(芦渡・35歳、11歳)

今年一年とにかくみんなが健康で、幸多い年でありませう願っています。今年勉強を頑張りたいと思います。

生まれた年(年齢)	人数(人)
明治42年(95歳)	6
大正10年(83歳)	18
昭和8年(71歳)	49
昭和20年(59歳)	25
昭和32年(47歳)	47
昭和44年(35歳)	30
昭和56歳(23歳)	22
平成5年(11歳)	33
合計	230

(平成16年12月27日現在)

わざ・慣用句は、いくつかありそうです。

「籠の鳥」は、籠に入れた鳥は飛ぶに飛べないところから、自由を奪われていること。または、そのような境遇にある人。

「空飛ぶ鳥も落とす(飛ぶ鳥を落とす)」は、空を飛んでいる鳥も落とすほど威力があるさまのたとえ。打ち落とされる鳥といえは「一石二鳥」。一つの石を投げて二羽の鳥を同時に打ち落とす意から、一つの行為によつて同時に二つの利益を得ることの意味です。

「閑古鳥が鳴く」は、貧しくてぴいぴいしているさま。または、商売などがはやらないうさまをたとえていいいます。

閑古鳥を追ひ払い、今年こそ本格的な景気回復でたくさんのご利益を、といきたいものです。

**日本人の卵の消費は世界でトップクラス**

ニワトリといえば卵です。卵そのものを調理したものや、パンや菓子など卵を原料として用いている食品を含めれば、卵が私たちの食卓を飾らない日はないといつてもいいでしょう。

その卵を、日本人は一年間にどのくらい食べているのか皆さんはご存じですか。過去の世界統計などによると、日本人は一人当たり年間三百個以上も消費しており、これは世界でもトップクラスです。ニワトリにはずいぶんお世話になっているというわけですね。

「鶏鳴」という言葉があるように、ニワトリの鳴くころといえは明け方近くです。

朝を迎えるための合図でもあったニワトリの鳴き声を聞く機会は、昔に比べて少なくなつたといえます。鳴き声どころか最近では、その姿を見かけることも少なくなりました。

昔は農家の庭先などで飼われていて、文字どおり「ニワトリ」でした。現在は鶏舎などで飼われることが多いため、身近に触れる機会も少なくなつてしまいました。

昨年は鳥インフルエンザによる感染が問題となり、養鶏農家やわたしたちの日常生活に大きな影響を及ぼしました。今年はそのような問題が起きないよう祈りたいものですね。